ストレージ／データ通信

ストレージ **122**
ストレージについて 122
ユーザーメモリやmicroSDメモリカードをUSBドライブとして利用する 123
機内モード **124**
パケット通信 **124**
パケット通信を利用する前に 124
パケット通信の設定を切り替える 125
Wi-Fi®接続 **125**
無線LAN（Wi-Fi®）機能を利用する 125
Wi-Fi®ネットワークを手動で追加する 126
WiMAX接続 **126**
WiMAX機能を利用する 126
WiMAXサービスをスキャンする 126
Wi-Fi®テザリング **127**
Wi-Fi®テザリングを設定する 127
Wi-Fi®テザリングをオンにする 127
Wi-Fi®テザリングをオフにする 127
USBテザリング **128**
USBテザリング機能を使用する 128
USBテザリング機能を終了する 128
赤外線通信 **129**
赤外線通信でデータを送受信する 129
Bluetooth®機能 **130**
Bluetooth®対応機器と接続する 130
本製品を検出可能にする 131
Bluetooth®機能でデータを送受信する 131

ストレージ

ストレージについて

ストレージは、アプリや写真、動画などのデータを保存できる領域です。
本製品には、本体内の「システムメモリ」と「ユーザーメモリ」、本製品に取り付けたmicroSDメモリカードの3つのストレージがあります。

システムメモリ	アプリや連絡先などが保存されます。
ユーザーメモリ	アプリや写真、動画などのデータを保存できます。
microSDメモリカード	写真や動画などのデータを保存できます。

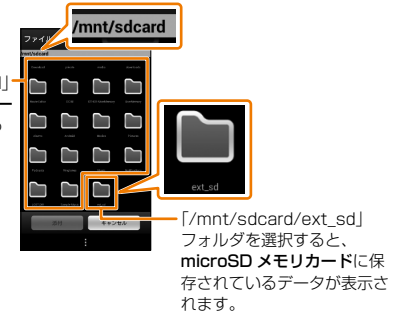
■「SDカード」や「microSD」などと表示されている場合のご注意

アプリによっては、「SDカード」や「microSD」などと表示されていても、ユーザーメモリが対象となる場合があります。
このとき、フォルダを選択できる場合は「/mnt/sdcard/ext_sd」フォルダを選択すると、microSDメモリカードを対象にすることができます。

例：Eメールアプリで添付ファイルを選択する場合

「SDカード」を選択すると、**ユーザーメモリ**（/mnt/sdcard/private/au/email/MyFolder）が表示されます。

この画面で「Up」を4回タップすると「/mnt/sdcard」フォルダが表示されます。



memo

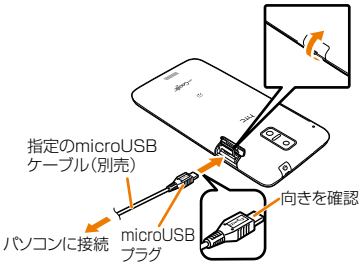
◎ストレージの空き容量は、ステータスバーを下方向にスライドする→[設定]→[ストレージ]と操作して表示される画面で確認できます。

ユーザーメモリやmicroSDメモリカードをUSBドライブとして利用する

本製品を指定のmicroUSBケーブル(別売)でパソコンと接続し、音楽、画像、その他のファイルをパソコンから本製品のユーザーメモリや、本製品に取り付けたmicroSDメモリカードにコピーすることができます。

1 本製品とパソコンを指定のmicroUSBケーブル(別売)で接続する

本製品に接続する際は、microUSBプラグと外部接続端子の形状を確認し、まっすぐに差し込みます。



・ドライバソフトウェアのインストールが始まったときは、終了するまでお待ちください。

2 本製品のステータスバーを下方向にスライドする→USB接続タイプを変更する項目をタップ→[外部メモリーモード]→[完了]

3 パソコン側で「マイ コンピュータ」(Windows® XPの場合)／「コンピューター」(Windows Vista®／Windows® 7の場合)を開き、「リムーバブルディスク」を選択

本製品のユーザーメモリや、本製品に取り付けたmicroSDメモリカード内のファイルを直接操作することができるようになります。

4 パソコン上のファイルや本製品のファイルのコピーを行う

5 パソコンからの操作を終了するときは、パソコンの「ハードウェアの安全な取り外し」の手順に従って、本製品を停止する

6 本製品とパソコンから指定のmicroUSBケーブル(別売)を取り外す

memo

◎ユーザーメモリまたはmicroSDメモリカードのデータにアクセスしているときに、指定のmicroUSBケーブル(別売)を取り外さないでください。データが壊れるおそれがあります。
◎指定のmicroUSBケーブル(別売)で本製品とパソコンを接続しているときは、本製品のユーザーメモリや本製品に取り付けたmicroSDメモリカードは、本製品からは使用できません。カメラなど、ユーザーメモリやmicroSDメモリカードを使用するアプリは、正しく動作しない場合があります。
◎Windows® XP／Windows Vista®／Windows® 7のパソコンで動作を確認しています。ただし、すべてのパソコンで動作を保証するものではありません。

機内モード

通話、パケット通信、無線LAN(Wi-Fi®)機能、Bluetooth®機能などの通話・通信機能をすべてオフにします。
航空機内や医療機関の中などでは携帯電話の電源をお切りください。

▶ ステータスバーを下方向にスライドする→[設定]→「機内モード」の[On]／[Off]と操作します。
機内モードがオンになると、ステータスバーに「✈」が表示されます。

memo

◎医療機関や高精度な電子機器のある場所など、電源を切ったり持ち込みを禁止する指示のある場所ではその指示に従ってください。

パケット通信

パケット通信を利用する前に

本製品は、「IS NET(アイエスネット)」や「au.NET(エーユードットネット)」のご利用により、手軽にインターネットに接続してパケット通信を行うことができます。本製品にはあらかじめIS NETやau.NETでインターネットへ接続する設定が組み込まれており、インターネット接続を必要とするアプリを起動すると自動的に接続されます。

memo

◎最大通信速度受信3.1Mbps／送信1.8Mbpsでのパケット通信によるインターネット接続やLAN接続を行うことができます。また、下り最大40Mbps、上り最大15.4Mbpsの高速無線データ通信規格WiMAX機能を搭載しているためCDMAエリアに加え、WiMAXエリアでも利用できます(▶P.126)。
※ご使用の通信環境により、最大通信速度が低下する場合があります。
◎ISフラットなどのパケット通信料定額／割引サービスご加入でインターネット接続時の通信料を定額でご利用いただけます。IS NET、au.NET、パケット通信料定額／割引サービスについては、最新のau総合カタログ／auホームページをご参照ください。

■ パケット通信ご利用上の注意

- 画像を含むホームページの閲覧、動画データなどのダウンロード、通信を行うウィジェットやGoogleサービスなどのアプリを使用すると、パケット通信料が高額となることがあります。パケット通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめいたします。
- ネットワークへの過大な負荷を防止するため、一度に大量のデータ送受信を継続した場合やネットワークの混雑状況などにより、通信速度が自動的に制限される場合があります。

■ ご利用パケット通信料のご確認方法について

ご利用パケット通信料は、次のURLでご照会いただけます。
https://cs.kddi.com/(auお客さまサポート)
- 初回のご利用の際は、お申し込みが必要です。

■ au.NETのご利用料金について

月額使用料	有料（ご利用月のみ発生）
通信料※	有料

※ 通信料については、最新のau総合カタログ／auホームページをご参照ください。

パケット通信の設定を切り替える

パケット通信は、次の操作でオン／オフを切り替えることができます。

▶ ステータスバーを下方向にスライドする→[設定]→「モバイルネットワーク」の[On]／[Off]と操作します。

パケット通信が利用できるときは、ステータスバーに「圏」（3Gデータ通信）／「圏」（1Xデータ通信）が表示されます。

Wi-Fi®接続

無線LAN（Wi-Fi®）機能を利用する

家庭内で構築した無線LAN（Wi-Fi®）環境や、外出先の公衆無線LAN環境を利用して、インターネットに接続できます。
本製品でWi-Fi®を使用するには、あらかじめアクセスポイントを登録する必要があります。

1 ステータスバーを下方向にスライドする→[設定]

2 「Wi-Fi」の「Off」をタップして「On」にする→[Wi-Fi]
近くのWi-Fi®ネットワークが表示されます。

3 接続するアクセスポイントをタップ
オープンネットワークを選択した場合、「接続」をタップするとアクセスポイントに接続されます。
セキュリティで保護されているネットワークを選択した場合、パスワード（すでに設定されたパスワード）を入力→「接続」をタップします。
接続が完了すると、ステータスバーに「」が表示されます。

memo

◎ 本製品の無線LAN機能は5GHz帯を使用します。電波法により5.2GHz帯および5.3GHz帯の屋外利用は禁止されております。
本製品が使用するチャンネルは以下の通りです。
W52（5.2GHz帯／36,40,44,48ch）
W53（5.3GHz帯／52,56,60,64ch）
W56（5.6GHz帯／100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch）

◎ Wi-Fi周波数帯域（5GHz帯／2.4GHz帯）を設定するには、ステータスバーを下方向にスライドする→[設定]→[Wi-Fi]→[メニュー]→[詳細設定]→[Wi-Fi周波数帯域]→使用するWi-Fi周波数帯域をタップします。

Wi-Fi®ネットワークを手動で追加する

1 **ステータスバーを下方向にスライドする→[設定]→[Wi-Fi]→[メニュー]→[ネットワークを追加]**

2 **追加するWi-Fi®ネットワークのネットワークSSIDを入力**

3 **[なし]→セキュリティタイプをタップ**
必要に応じて、追加するWi-Fi®ネットワークのセキュリティ情報を入力します。

4 **[保存]**

memo

◎手動で追加したWi-Fi®ネットワークを削除するには、ステータスバーを下方向にスライドする→[設定]→[Wi-Fi]→削除するWi-Fi®ネットワークをロングタッチ→[ネットワークから切断]と操作します。

WiMAX接続

WiMAX機能を利用する

WiMAX(Worldwide Interoperability for Microwave Access)ネットワークを利用して、インターネットに接続できます。
WiMAX機能を使用するには、次の操作でWiMAX機能をオンにします。

▶ ステータスバーを下方向にスライドする→[設定]→「WiMAX」の「Off」をタップして「On」にします。
接続が完了すると、ステータスバーに「」が表示されます。

memo

◎本サービスはUQコミュニケーションズ株式会社の提供するWiMAXに対応したサービスです。
◎WiMAX利用時には別途パケット通信料がかかります。パケット通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。
◎WiMAX機能をオンにしているときは、WiMAXエリア内では自動でWiMAX通信を行います。WiMAX通信をご利用にならない場合は、WiMAX機能をオフにしてください。

WiMAXサービスをスキャンする

WiMAXが切断された場合は、WiMAXネットワークをスキャンできます。

▶ ステータスバーを下方向にスライドする→[設定]→[WiMAX]→[WiMAXサービスのスキャン]と操作します。

memo

◎Wi-Fi®ネットワークに接続しているときは、Wi-Fi®ネットワークが優先されます。WiMAXサービスに接続するには、無線LAN(Wi-Fi®)機能をオフにしてください。

Wi-Fi®テザリング

本製品をワイヤレスLANホットスポットとして使用し、無線LAN(Wi-Fi®)機能対応のクライアント(パソコンなど)からインターネット接続を利用できます。
Wi-Fi®テザリングアプリは以下の無線通信規格、暗号化方式に対応しています。
- 無線通信規格:IEEE802.11a/b/g/n準拠
- 暗号化方式:OPEN(なし)、WEP(128bits)、WPA(TKIP)、WPA2(AES)

Wi-Fi®テザリングを設定する

1 ホーム画面で[▦]→[Wi-Fiテザリング]
Wi-Fiテザリングの設定画面が表示されます。
Wi-Fi®テザリングに関する説明が表示されたときは「OK」をタップします。

2 必要な項目を設定

設定	ルーター名(SSID)	クライアントから見えるルーター名(SSID)を設定します。
	セキュリティ	無線LAN(Wi-Fi®)機能の暗号化方式を選択します。
	パスワード	クライアントとの通信を暗号化するためのパスワード(WEPキー/WPAキー)を設定します。ここで設定したWEPキー/WPAキーをクライアント側でも入力する必要があります。
ユーザー	ユーザーを管理	許可されたクライアント(ユーザー)のみ本製品に接続を許可したり、本製品への最大接続数を設定します。

Wi-Fi®テザリングをオンにする

無線LAN(Wi-Fi®)機能対応のクライアント(パソコンなど)から本製品に接続します。

1 ホーム画面で[▦]→[Wi-Fiテザリング]→「Wi-Fiテザリング」をタップしてチェックを付ける
ステータスバーに「◎」が表示されます。

2 画面の指示に従って、クライアントから本製品に接続する
「Wi-Fi®テザリングを設定する」(▶P.127)で「許可されたユーザーのみ」にチェックを付けたときは、クライアントが初めて本製品に接続するときは、接続に失敗します。続けて、次の操作を行ってください。この操作はクライアントごとに一度だけ行います。

3 本製品で[OK]→[ユーザーを管理]

4 「接続要求」に表示されたMACアドレスが、接続を許可するクライアントのMACアドレスと一致していることを確認→[許可]

5 もう一度クライアントから本製品に接続する

memo
◎ Wi-Fi®テザリングと無線LAN(Wi-Fi®機能)(▶P.125)は同時に使用できません。
◎ クライアントの操作について詳しくは、クライアントの取扱説明書をご参照ください。

Wi-Fi®テザリングをオフにする

▶ ホーム画面で[▦]→[Wi-Fiテザリング]→「Wi-Fiテザリング」をタップしてチェックを外します。

USBテザリング

本製品とパソコンを指定のmicroUSBケーブル(別売)で接続すると、本製品のパケット通信やWiMAX機能によるインターネット接続をパソコンから利用できます。

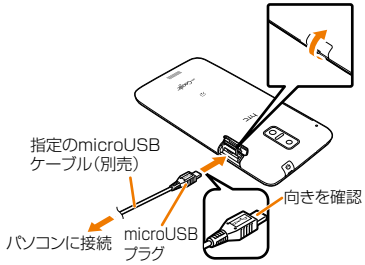
memo

◎USBテザリングを使用する場合は、パソコンにHTC Sync Manager(▶P.108)がインストールされている必要があります。

USBテザリング機能を使用する

1 本製品とパソコンを指定のmicroUSBケーブル(別売)で接続する

本製品に接続する際は、microUSBプラグと外部接続端子の形状を確認し、まっすぐに差し込みます。



・ドライバソフトウェアのインストールが始まったときは、終了するまでお待ちください。

2 本製品のステータスバーを下方向にスライドする→USB接続タイプを変更する項目をタップ→[USBテザリング]→[完了]

3 [Windows]／[Mac OS X]

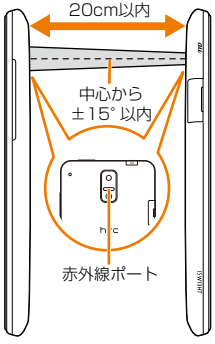
・ドライバソフトウェアのインストールが始まったときは、終了するまでお待ちください。

USBテザリング機能を終了する

▶本製品のステータスバーを下方向にスライドする→[USBテザリング]→[充電のみ]→[完了]と操作します。

赤外線通信

本製品と赤外線通信機能を持つ相手側の機器との間でデータを送受信できます。
赤外線の通信距離は20cm以内でご利用ください。
また、データの送受信が終わるまで、本製品の赤外線ポート部分を、相手側の赤外線ポート部分に向けたまま動かさないでください。
赤外線通信を行うには、送る側と受ける側がそれぞれ準備する必要があります。受ける側が受信状態になっていることを確認してから送信してください。



memo

◎相手側の機器および機能によって正しく送受信できないデータがあります。
◎直射日光が当たる場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、正常に通信できない場合があります。
◎赤外線ポートが汚れているときは、傷が付かないように柔らかい布で拭き取ってください。赤外線通信失敗の原因になる場合があります。
◎送受信時に認証パスコードの入力が必要になる場合があります。認証パスコードは、送受信を行う前にあらかじめ通信相手と取り決めた4桁の数字です。送る側と受ける側で同じ番号を入力します。

送受信できるデータについて

◎データ容量や相手の機器によって通信に時間がかかる場合があります。
◎著作権保護されたデータなど、データによっては送信しても他の機器では再生できない場合があります。
◎相手の機器やデータの種類、容量によっては再生や保存ができない場合があります。
◎受信したデータは、本製品のユーザーメモリに保存されます。

赤外線通信でデータを送受信する

赤外線通信でデータを送信する

各機能の共有メニューからデータを送信できます。
送信操作は機能によって異なります。ここでは連絡先を1件送信する操作と、ギャラリーで画像を1件送信する操作を説明します。

■ 連絡先を1件送信する

1 **ホーム画面で[ ]→[連絡先]→送信する連絡先をタップ**
2 **[メニュー]→[マイプロフィールを送信]／[連絡先を送信]**
3 **「連絡先を送信」の[ ]→[赤外線]**
4 **送信する内容を設定→[送信]→[OK]**

■ ギャラリーで画像を1件送信する

1 **ホーム画面で[ ]→[ギャラリー]→送信する画像をロングタッチ**
2 **[共有]→[すべて見る...]→[赤外線]→[OK]**

赤外線通信でデータを受信する

1 **本製品のステータスバーを下方向にスライドする→[設定]→「赤外線」をタップして「On」にする**

2 **[受信]／[全件受信]**
「全件受信」をタップした場合は、続けて4桁の数字（認証コード）を入力→[OK]と操作します。
赤外線がオンになると、ステータスバーに「」が表示されます。

3 **赤外線ポート部分を相手側の赤外線ポート部分に向けてデータを受信する**

4 **画面の指示に従って操作**

memo

◎連絡先を受信したときは、次の操作でインポートします。
ホーム画面で[]→[連絡先]→[メニュー]→[連絡先を管理]→[連絡先のインポート／エクスポート]→[ユーザーメモリからインポート]→連絡先を登録するアカウントをタップ→画面の指示に従って連絡先データを選択します。

Bluetooth®機能

Bluetooth®機能は近距離における無線通信技術です。Bluetooth®対応機器同士であれば、約10m以内で無線通信を行うことができます。本製品のBluetooth®機能には3つの状態があります。

状態	説明
オン	本製品は他のBluetooth®対応機器を検出することができますが、相手側の機器から検出することはできません。
オフ	このモードでは、Bluetooth®機能を使ってデータを送受信することはできません。電池を節約したい場合や、航空機内、医療機関の中などワイヤレス通信機器の使用が禁じられている場所ではBluetooth®機能をオフにしてください。
検出可能	Bluetooth®機能がオンになっており、相手側の機器が本製品を検出できます。

Bluetooth®対応機器と接続する

あらかじめハンズフリーヘッドセットや車内ハンズフリーキットの電源を入れ、ペアリングするモードに切り替えておきます。詳細は、ハンズフリーヘッドセットの取扱説明書をご参照ください。

1 **本製品のステータスバーを下方向にスライドする→[設定]→[Bluetooth]**

2 **「Off」をタップして「On」にする**
デバイスの検索が行われ、検出されたデバイスが一覧表示されます。
一覧に接続するデバイスが見つからない場合、[メニュー]→[デバイスの検索]と操作して再検索します。

3 **接続するデバイスを選択→画面の指示に従って操作**
Bluetooth®対応機器と接続中は、ステータスバーに「」が表示されます。

本製品を検出可能にする

1 **本製品のステータスバーを下方向にスライドする→[設定]→[Bluetooth]**

2 **「Off」をタップして「On」にする**
デバイスの検索が行われ、検出されたデバイスが一覧表示されます。

3 **本製品のデバイス名をタップする**
周辺のBluetooth®対応機器に表示されるようになります。

Bluetooth®機能でデータを送受信する

Bluetooth®機能でデータを送信する

各機能の共有メニューからデータを送信できます。
送信操作は機能によって異なります。ここでは連絡先を1件送信する操作と、ギャラリーで画像を1件送信する操作を説明します。

■ 連絡先を1件送信する

1 **ホーム画面で[ ]→[連絡先]→送信する連絡先をタップ**

2 **[メニュー]→[マイプロフィールを送信]／[連絡先を送信]**

3 **「連絡先を送信」の[ ]→[Bluetooth]**

4 **送信する内容を設定→[送信]**

5 **Bluetooth®対応機器をタップ**

memo

◎送信相手のBluetooth®対応機器によっては、あらかじめ受信待ち状態にする必要があります。

■ ギャラリーで画像を1件送信する

1 **ホーム画面で[ ]→[ギャラリー]→送信する画像をロングタッチ**

2 **[共有]→[すべて見る...]→[Bluetooth]**

3 **Bluetooth®対応機器をタップ**

Bluetooth®機能でデータを受信する

あらかじめ、Bluetooth®機能をオンにして、Bluetooth®対応機器と接続してください(▶P.130)。

1 **相手のBluetooth®対応機器からデータを受信**
本製品のステータスバーに「 」が表示されます。

2 **ステータスバーを下方向にスライドする→[Bluetooth共有:ファイル着信]→[承諾]**
データの受信が完了します。
受信したデータを確認するには、ステータスバーを下方向にスライドする→[Bluetooth共有:受信したファイル]→受信したデータをタップします。